

【教科名】 国語

(1) 目指すもの

中学で国語力の基礎である「読む・書く・聞く・話す」力を十分に身に付け、高校ではそれをさらに伸ばし、大学受験に対応できる実践的な力を養うことを目指します。

(2) 授業の進め方

中学では文章を丁寧に読み、読解力を養うとともに、作文の時間を週に1時間設定し、文章表現力も育みます。また毎週終礼時に漢字の小テストを実施し、読み書きの基礎となる漢字を確実に身につけます。さらに年1回「朗読発表会」を実施し、読む力・話す力を育てます。高校では多くの作品に触れ、読解力を養うと共に、中学で身に付けた力を基礎にして、高2までにそれらを定着させ、高3では進路希望に合わせた演習を行います。また、中高とも年1回、全校生徒が参加する「作文・読書感想文コンクール」が実施され、読書習慣、表現力、作文力を身に付けることに寄与しています。

(3) 使用教材について

中1：『中学校国語1』（学校図書）

中2：『中学校国語2』（学校図書）

中3：『中学校国語3』（学校図書）

高1：『改訂版 国語総合 現代文編』『改訂版 国語総合 古典編』（大修館書店）

高2・高3：『精選現代文』『精選古典』（東京書籍）

【教科名】国語

最終到達目標		中学で国語力の基礎である「読む・書く・聞く・話す」力を十分に身に付け、高校ではそれをさらに伸ばし、大学受験に対応できる実践的な力を養う			
ST	学年	コース	授業目標	主な授業内容	課題・講習・行事等
第1ステージ	中学1年		身の回りのものに目を向け、素直に表現できる力を養う。 【漢字】中学1年程度の常用漢字の学習 【文法】言葉の単位、文節、単語、品詞	<現代文>小説、説明文の読解。 <古文>古典への興味と読みの構えを作り、慣れ親しむ。 <漢文>漢文訓読の調子に慣れる。	・朗読発表会 ・作文・読書感想文コンクール ・書写の授業 ・修養会の事前学習
	中学2年		社会を見つめ、自分と社会との関係を感じながら、自分の意見を表現できる力を育てる。 【漢字】中学2年程度の常用漢字の学習 【文法】自立語	<現代文>小説、説明文の読解。 <古文>現代語訳、鑑賞や内容理解をさせる。冒頭文の暗誦。 <漢文>白文、訓読文、書き下し文。	・朗読発表会 ・作文・読書感想文コンクール ・書写の授業 ・修養会の事前学習
第2ステージ	中学3年		社会で生きる者として、自分とは何かを考えながら、社会で起こっている事柄を知り、それについて表現できる力をつける。 【漢字】中学3年程度の常用漢字の学習。 【文法】付属語、敬語、文語文法	<現代文>小説、説明文の読解。 <古文>古文読解の基礎的な知識の修得。 <漢文>漢文読解の基礎的な知識を学ぶ。	・朗読発表会 ・作文・読書感想文コンクール ・書写の授業 ・研修旅行の事前学習
	高校1年		現代文2時間、古文2時間、漢文1時間を充てる。大学入試に向けて、常用漢字の書き取り、読み方、同音異義や同訓異義などの識別、四字熟語や故事成語、ことわざなどの常識語対策を行う。	【現代文】小説、随想、評論文の読解。詩、短歌、俳句の鑑賞・創作。文学史の学習。【古文】説話、歌物語、伝奇物語、日記、随筆、軍記の読解、和歌、俳諧の鑑賞。【漢文】訓読法、書き下し文、句法の学習。	・作文・読書感想文コンクール ・読書指導 ・作文指導
第3ステージ	高校2年	理	大学入試に向けて、常用漢字の書き取り、読み方、同音異義や同訓異義などの識別、四字熟語や故事成語、ことわざなどの常識語対策を行う。	【現代文】小説、評論文、随想、韻文の読解。【古典】説話、物語、日記、随筆、軍記物語の学習と和歌、俳諧の鑑賞。【漢文】詩、歴史書、思想について。	・作文・読書感想文コンクール ・研修旅行の事前学習 ・読書指導 ・現代文・古文・漢文演習
		文	社会問題に目を向け、一つのテーマに沿って自分の意見をまとめられるだけの力を養うとともに、そのテーマにふさわしい書物を選び出し、それを理解できる力を養う。	【現代文】基礎基本を週2時間、演習を週1時間行う。【古文】説話、物語、日記、随筆、軍記物語の学習と和歌、俳諧の鑑賞。【漢文】詩、歴史書、思想について、文学史について。	・作文指導 ・歌舞伎教室
		推薦	系列校特別推薦入試に十分な学力を持って臨めるようにする。	文系受験コースと同様の教科指導は勿論のこと、併せて志望理由書の作成や小論文指導に力を注ぐ。	
	高校3年	理	現代文・古文・漢文の演習、「問題演習」「小論文」等にも取り組み、大学受験を意識した授業を行う。	【現代文】小説、評論、詩歌（韻文）などの読解・鑑賞。 【古典】センター試験対策。	・作文・読書感想文コンクール ・大学進学向けの講習
文		あらゆる社会問題について自分の考えをまとめ、表現できる力を養う。多様化する大学入試問題に対応できるよう、書く機会を多く用意し、大学受験を意識した授業を行う。	【現代文】小説、評論、詩歌（韻文）などの読解・鑑賞。 【古典】古文では説話、物語、日記、随筆、軍記物語、和歌、俳諧の読解。大学入試問題に旺盛に取り組む。漢文は漢詩、歴史書、思想など。	・大学進学向けの講習 ・問題文演習 ・小論文指導	
推薦		系列校特別推薦入試に十分な学力を持って臨めるようにする	【現代文】小説、評論、詩歌（韻文）などの読解・鑑賞。進路に関する図書。【古典】説話、物語、日記、随筆、軍記物語、和歌、俳諧の読解。	・志望理由書の指導 ・小論文指導	

2017年度 中学1年国語シラバス

教科名	国語	科目名	国語	対象クラス	中学1年全クラス	単位数	4単位
科目の目標	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにし、国語に対する認識や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てる。						
使用教科書	中学校国語1（学校図書）		使用副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の文法教室（全教材） ・国語活用資料集東京都版（新学社） ・級別字典漢字の反復練習（浜島書店） ※「国語辞典」を各自用意する。（指定なし） ※その他、適宜プリントを配布する。			

1 学習の目標

- (1) 目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力、話し手の意図を考えながら聞く能力、話題や方向をとらえて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えをまとめようとする態度を育てる。特に、他者の話や文章の内容を的確に捉え、理解しまとめる能力を育む。
- (2) 目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて、構成を考えた的確に書く能力を身に付けさせるとともに、進んで文章を書いて考えをまとめようとする態度を育てる。また、文法事項や言葉遣いに留意しつつ、丁寧かつ正確な文字を書き、言葉を大切にす姿勢を養う。
- (3) 目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身に付けさせるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。特に、様々な種類の文章に触れることにより、新たな言葉との出会いを通して語彙を豊かにし、豊かな想像力と表現力、客観的な判断力と論理的な思考力を育み、国語を学ぶ意欲を高める。

2 評価について

(1) 評価の観点

観点	趣旨
①関心・意欲・態度	国語に対する関心をもち、文章を工夫して書いたり、本を読んだり、話し合いに参加したりしようとする。
②話す・聞く能力	自分の考えを大切に、相手にとってわかりやすい話し方をしたり、的確に相手の話を聞き取ったりする。
③書く能力	様々な材料を活用することで自分の考えをまとめ、筋道を立てて伝えることで、自分の立場を明らかにした読みやすい文章を書く。
④読む能力	文章を読むことで、書き手の思いや意見を理解し、多様なものの見方や考え方、表現の効果をとらえる。
⑤知識・理解	漢字の書きや読み、慣用句や四字熟語、口語文法などについての知識を身につけている。

(2) 評価の方法（以下観点①～③は「(1) 評価の観点」と対応する）

観点	評価材料								
		定期考査	確認テスト	小テスト	発言発表	作文	作品	ノート	宿題
①関心・意欲・態度					○	○	○	○	○
②話す・聞く能力					○			○	
③書く能力		○	○	○		○	○	○	○
④読む能力		○	○	○	○	○	○		○
⑤知識・理解		○	○	○			○	○	○

※ 定期試験（80点満点）＋観点別評価（20点満点、平常点）＝100点満点として評価する。

3 授業計画

学期	月	単元	教材名	学習目標及び学習内容	評価の観点	備考	
一 月	四 月		詩「はる」「海のはじまり」	●音読をし、情景を想像する。 ●音読をすることによって五感を磨く。 ●平仮名表記の効果について考える。 ●作品の言葉について想像し、意見を交換する。	●言葉の学習の意義を感じ取ろうとしている。 ●音読をして五感を磨きつつ、情景を想像している。 ●想像したことを、理由をふくめて意見交換している。 ●キーワードを捉え読解を深めている。	ノート ワークシート 発表	
		1 絆 家族の中で	椎名誠「風呂場の散髪—続岳物語」(小説)	●成長するとは何かについて考える。 ●会話表現の特徴と効果を捉える。 ●「岳」の気持ちを想像する。 ●「私」が「岳」の気持ちを理解していく過程を捉える。 ●「私」の気持ちをまとめ、意見交換する。	●成長するとは何かということについて考えようとしている。 ●小説に描かれた登場人物の心理を捉えようとしている。 ●行動描写や心情を表す表現と関連させて、会話に表れた人物の心情を掘り下げて理解している。 ●登場人物の心情や人物像の捉え方を理解している。 ●心情理解にふさわしく音読している。	ノート ワークシート	
		作文	自己紹介文	●わかりやすく自己紹介文を書く。	●自分のことを文章でわかりやすく紹介することができる。	作品・発表	
		漢字	漢字の学習	小学1~3年、中学1年程度の漢字を正確に書く。	●一画一画丁寧に、とめ・はね・はらいを正しく書ける。	小テスト	
		文法	第一章 言葉の単位	●言葉の単位を理解し、文を捉える。	●言葉の単位を理解し、言葉を単位ごとに分けることができる。		
		1 絆 家族の中で	向田邦子「字のない葉書」(随想)	●家族のきずなを考える。 ●心理の変化を表す表現を捉える。 ●「父」の言動を吟味し、気持ちと気持ちの変化を捉える。 ●作者の執筆動機について考えを交流する。	●家族のつながりを考えようとしている。 ●登場人物の心理の変化を読み取ろうとしている。 ●人物像が直接・間接に表れている語句を捉えて、人物像を把握している。 ●親子関係についての理解を深めている。 ●人物像を表す語句について理解を深めている。 ●随想表現の特徴を理解している。	ノート ワークシート 発表	
		作文	原稿用紙の使い方	原稿用紙の使い方を理解し、正しく使用する。	●原稿用紙の使い方を理解し、正しく書ける。	作品・発表	
	漢字	漢字の学習	中学1年程度の漢字を正確に読み書きする。	●一画一画丁寧に、とめ・はね・はらいを正しく書ける。	小テスト		
	文法	第二章 文の組み立て 1主語・述語	主語・述語の働きや関係について理解し文を把握する。	●主語・述語とその関係を理解し、見分けられる。			
	中間試験						
	六 月	1 絆 家族の中で	笹山久三「兄やん」(小説)	●中間のきずなを考える。 ●展開を捉える。 ●「サチ」の考えの変化に即して展開を捉える。 ●自分自身の家族について、考え発表する。	●中間の絆を捉え、展開を理解しようとしている。 ●情景描写に込められた登場人物の気持ちを捉えようとしている。 ●「サチ」の考えの変化に即して作品を理解しようとしている。 ●「兄やん」の行動がどのように中間の絆を守ったかを捉えている。 ●小説の特徴を捉え、自分の家族について考えようとしている。	ノート ワークシート	
		作文	手紙の書き方	手紙の書き方を理解する。	●一般的な手紙の書き方をに即して書き、相手に送ることができる。	作品・発表	
		漢字	漢字の学習 漢字を見抜く1「漢字の成り立ち」	中学1年程度の漢字を正確に読み書きする。 漢字の成り立ちについて理解する。	●一画一画丁寧に、とめ・はね・はらいを正しく書ける。 ●漢字の成り立ちに興味を持ち、詳しく知ろうとしている。 ●「六書」について知り、漢字の一字一字を見つめる方法を身につけている。	小テスト	
		朗読発表会	小説の朗読	●作品を感情を込めて、流暢に読み、発表する。 ●文章の読み方、発表の仕方について理解し、実践する。	●詰まったり、とまったりせずに読める。 ●聞き取りやすい、大きくはっきりとして読み方である。 ●適度に間を取って読める。 ●感情を込めて読める。	グループワーク 発表	
		文法	第二章 文の組み立て 2修飾語 3接続語 4独立語	修飾語・接続語・独立語の働きを理解する。	●修飾語・接続語・独立語の働きを理解し、見分けられる。		
		1 絆 家族の中で	角田光代「初めてのちいさな旅」(随想)	「起承転結」が視点を切り替えることで認識を深める方法であることを理解する。	●実例に即して「起承転結」による視点の切り替えを確かめている。 ●実例に即して、視点の切り替えによる認識の深まりを確かめている。 ●「起承転結」を吟味して読解を深める方法を理解している。	ノート ワークシート	
		作文	読書感想文を書く	読書感想文の書き方を理解して、実践する。	●文章を読んだ感想を、自分の言葉でまとめることができる。	作品	
	漢字	漢字の学習	中学1年程度の漢字を正確に読み書きする。	●一画一画丁寧に、とめ・はね・はらいを正しく書ける。	小テスト		
	文法	第二章 文の組み立て 5連文節 6 立の関係 7補助の関係	連文節の働き、並列の関係・補助の関係を理解し、見分けられる。	●連文節の働き、並立の関係・補助の関係を理解し、見分けられる。			
	学 期 末 試 験						

学期	月	単元	教材名	学習目標及び学習内容	評価の観点	備考	
二	九	2 生命	小関智弘「ものづくりに生きる」(説明・評論)	●社会の中の生を考える。 ●展開に即して要旨を捉える。 ●労働の社会性や創造性について具体的にまとめ、社会の中で働く意味や意義について考えを交流する。 ●表に整理することによって、異なる事例から共通点を導き出していく文章展開を捉え、要旨をまとめる。 ●労働の社会性に視点を当て、職業観を書く。	●社会の中で働くということの意味について考えようとしている。 ●文章展開に添って要旨を捉える方法を理解している。 ●異なる事例から共通点を導き出していく文章展開を整理し表にまとめて要旨を理解しようとしている。 ●労働の社会性に視点を当てて、職業観を深めている。 ●労働の社会性に屋創造性について具体的に理解している。 ●表現に注目し、評論の特徴を理解している。	ノート ワークシート グループワーク 発表	
			若生謙二「変わる動物園」(説明・評論)	●自然とかかわる生を考える。 ●構成に即して主張を捉える。 ●表にキーワードを入れることによって、全体構成を捉える。 ●異なる事例から共通点を導き出していく文章構成を捉え、筆者の主張をまとめる。	●自然とかかわる生を考えようとしている。 ●構成に即して主張を捉えようとしている。 ●全体構成を捉えるために、表にキーワードを入れている。 ●異なる事例の共通点に着目し、筆者の主張をまとめている。 ●人間と動物との関係と、筆者の主張する人間と動物の関係の違いについて意見を交換している。	ノート ワークシート	
		作文	「ものづくりに生きる」を読み、「職業観」をキーワードにして感想文を書く。	「職業観」をキーワードに、筆者の主張に触れながら、自らの考えを述べる。	●働くことの意味、生き方について考え、自分の意見を述べ、他者の意見を聞ける。 ●学習を終えての感想が学習前と比較して違いを持たせられる。	作品 発表	
			「変わる動物園」を読み、要旨をまとめる。	「変わる動物園」を読み、要旨をまとめる。	文章構成に即して筆者が伝えたいことを理解し、要旨を完結にまとめられる。	作品 ワークシート	
		漢字	漢字の学習	小学4・5年、中学1年程度の漢字が正確に読み書きできる。	○一画一画丁寧に、とめ・はね・はらいを正しく書ける。	小テスト	
		文法	第二章 文の組み立て 8文の成分	文の成分について理解し、文章を把握することができる	○文がどのような働きをもつ部分から成り立っているのか、そしてその成分によって文がどのように組み立てられているのかを理解できる。		
		2 生命	吉野弘「奈々に」(詩)	●親から子へのメッセージを捉える。 ●詩的表現の工夫や効果を考える。 ●重要な表現の意味を捉え、交流する。 ●表現に込められた親から子へのメッセージを捉え、文章で表現する。	●重要な表現の意味について考え、意見交換をしている。 ●詩的表現の工夫や効果を考えようとしている。 ●詩的表現の工夫や効果について理解しようとしている。 ●表現に込められた親からおへのメッセージを理解している。 ●詩の特徴を理解している。	ノート ワークシート 作品 グループワーク	
			寺山修二 「何にでも値段をつける古道具屋さんのおじさんの詩」(詩)	●価値について考える。 ●表現に込められた親から子へのメッセージを捉え、文章で表現する。	●価値について考え、表現に込められた親からおへのメッセージを理解している。 ●詩の特徴と、応答的に読むことで読解が深まることを理解している。 ●重要な表現上の工夫や効果について考え、意見を交流している。		
		書く1	「私のブックデザイン ブックカバー作品展」	●本の魅力を伝える。 ●手順に従って、ブックカバーを作成する。 ●作品展を開催する。	●自分の感じた本の魅力を伝えようとしている。 ●作品の魅力を端的に示すコピーや紹介文を書いている。 ●自分が感じたことを伝える様々な表現法を身につけている。 ●選んだ作品の魅力を端的に示すコピーを書いている。 ●伝えたい魅力にふさわしいデザインを工夫している。 ●作品の魅力やカバーの工夫点をカードに書いている。	作品 発表	
		漢字	漢字の学習 漢字を見抜く2「声符による漢字の読み」	中学1年程度の漢字を正確に読み書きする。 漢字の声符について理解する。	一画一画丁寧に、とめ・はね・はらいを正しく書ける。 形成文字の義符・声符とは何かを知り、義符・声符を見つめる方法を身につけている。	小テスト	
文法	第三章 文をつなぐ言葉 1指示する語句 2接続する語句	●指示する語句の働きとその種類を理解する。 ●接続する語句の働きとその種類を理解する。	●指示する語句の働きとその種類を理解できる。 ●接続する語句の働きとその種類を理解できる。				
中 間 試 験							
十	2 生命	命の鎖	三宮麻由子「知識の樹木」抄(随想)	●認識を獲得する喜びについて考える。 ●体験を吟味する方法を捉える。 ●表現を吟味し、筆者の喜びを共感的に捉える。	●認識を獲得する喜びについて、考えようとしている。 ●体験を吟味する方法を考え、意見交流をしている。 ●喜びに対する筆者の思いを共感的に理解している。	ノート ワークシート グループワーク	
			漢字	漢字の学習	中学1年程度の漢字を正確に読み書きする。	一画一画丁寧に、とめ・はね・はらいを正しく書ける。	小テスト
			文法	第四章 単語の種類 1自立語と付属語 2活用	●自立語・付属語を理解し、見分ける。 ●活用について理解する。	●自立語・付属語を理解し、見分けられる。 ●活用とは何かを理解し、活用する単語と活用しない単語を見分けられる。	
書写	書写	字の書き方について理解する。	字の書き方を理解し、実践することができる。	作品			
十二	3 群像	出会いと発見	あわやのぶこ「空飛ぶ魔法のほうき」(随想)	●想像力の役割を考える。 ●筆者の考えとエピソードとの関係を考える。 ●表現に即して題名に込められた筆者の思いや思索を捉え、筆者の考えを理解する。	●「おじさん」の言葉や娘の反応から、想像力を大切に思う「おじさん」の心と娘の心の共感を捉えている。 ●題名に込められた筆者の思索や感動を捉えている。 ●思索とエピソードの関係を捉えている。	ノート ワークシート	
			漢字	漢字の学習	中学1年程度の漢字を正確に読み書きする。	○一画一画丁寧に、とめ・はね・はらいを正しく書ける。	小テスト
			書写	書写	字の書き方について理解する。	字の書き方を理解し、実践することができる。	作品
学 期 末 試 験							

学期	月	単元	教材名	学習目標及び学習内容	評価の観点	備考		
三 学 期	一 月	5 世界 関係の中で	ヘルマン=ヘッセ「少年の日の思い出」	●他者と関わる自己を考える。 ●語りの構造から人間関係を捉える、 ●表現に即して、「盗み」に至る「僕」の気持ちを考える。 ●「僕」の「エミール」への思いを捉える。 ●主題を明確にし、感想・意見を述べる。	●他者と関わる自己を考えようとしている。 ●語りの構造から人間関係を捉え、読解を深めている。 ●「盗み」に至る「僕」の気持ちの変化を読み取っている。 ●「僕」の「エミール」への思いを示す表現を抜き出し、「僕」の「エミール」への思いを読み取っている。 ●作品に向き合い、自己の経験と重ねて意見を述べている。	ノート ワークシート グループワーク		
		作文	「少年の日の思い出」感想文			作品・発表		
		漢字	漢字の学習 漢字を見抜く3「部首による漢字の意味」	小学6年、中学1年程度の漢字を正確に読み書きする。 部首平部首名について理解する。	○一画一画丁寧に、とめ・はね・はらいを正しく書ける。 部首を理解し、漢字の意味を推測する方法を身につけている。	小テスト		
		文法	第四章 単語の種類 3品詞 4連用修飾語と連体修飾語・単語ではない言葉	●品詞とは何を理解し、品詞の種類を理解する。 ●連用修飾語と連体修飾語について理解する。 ●接頭語・接尾語について理解する。	●品詞とは何か、また品詞の種類とその働きを理解できる。 ●連用修飾語・連体修飾語、接頭語・接尾語を理解できる。			
		書写	書写	字の書き方について理解する。	字の書き方を理解し、実践することができる。	作品		
		4 伝統 時を超えて	「姫の物語？ 翁の物語？ 一竹取物語」(古文)	●語り手が伝えようとしたことを捉える。 ●内容を理解して音読し、古文特有のリズムを味わう。 ●既知の物語と原作とを比較し、その差異に注目して原作の魅力について考える。 ●状況、内容を捉え、作品の主旨を理解する。 ●書き下し文で原話の内容を捉える。 ●訓読文を音読し、その内容と特有のリズムを味わう。 ●「五十歩百歩」の書き下し文を読み、孟子が恵王に示唆したことを捉える。 ●「矛盾」の書き下し文を読み、例話が示唆する事態を捉える。	●絵本や童話で流布されている話と原作の差異に気づき、語り手が伝えようとしたことを理解している。 ●帝や翁・姫の言動から、語り手が読者に伝えようとしたことを考え、内容を理解している。 ●文語のきまりを理解し、歴史的仮名遣いの部分を正しく音読し、文語特有のリズムを味わうことができる。 ●文語のきまりを理解し、書き下し文を正しく音読し、漢文特有のリズムを味わうことができる。 ●「五十歩百歩」の原話を読み、たとえ話によって孟子が恵王に示唆したことを捉えている。 ●「矛盾」の原話を読み、このたとえ話が示唆する事態を捉えている。	ノート ワークシート グループワーク		
	二 月	漢字	漢字の学習 漢字を見抜く4「漢字の書体」	中学1年程度の漢字を正確に読み書きする。 漢字の起こり、書体の変遷について理解する。 甲骨文字・金文などの書体の変遷、活字体と手書きの楷書の違いについて知る。	○一画一画丁寧に、とめ・はね・はらいを正しく書ける。 ●甲骨文字や金文に関心を持ち、漢字の原義を知ろうとしている。 ●書体の変遷、活字体(主に明朝体)と手書きの違いについて知り、書きやすい書体で漢字を書きこなす方法を身につけている。	小テスト		
			漢字を見抜く5 「旧字体と新字体・簡易慣用字体」	旧字体・新字体などについて理解し、改訂された常用漢字表の字体について知る。	●旧字体と新字体・簡易慣用字体について知ろうとしている。			
		文法	第五章 自立語(1)―体言	●名詞の性質・種類などについて理解し、文章の中で見分けることができる。	●名詞とはどのようなものでどのような性質を持っているか、また名詞の種類やその他特別な名詞について理解できる。			
		書写	書写	字の書き方について理解する。	字の書き方を理解し、実践することができる。	作品		
		学 年 末 試 験						

※ 尚、進度等は授業時数等の関係により、異なる場合がある。

※ 上記の他に適宜教科書外作品を扱う場合がある。

◇ 中学2年 必修教科「国語」 授業のシラバス ◇

教科名	国語	科目名	国語	単位数	5
教科の目標	国語を適切に表現し、正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。				
教科書	中学校国語2（学校図書）	副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学生の文法教室（全教材） ・ 国語活用資料集東京都版（新学社） ・ 級別字典漢字の反復練習（浜島書店） 		

1 学習の目標

- (1) 国語は「コミュニケーション」の教科であることを理解する。
- (2) その場に応じた話し方・聞き方を学び、自分の考えを豊かな言葉で伝えようとする意識を高める。
- (3) ひとつの文章を読んだとき、その文章に対して 800 字程度の意見を作文し、自分の考えを論理的に作文する力を向上させる。
- (4) 本を読み、読書に親しむことは、自分の可能性を広げることであると自覚し、他者の視点やものの考え方を理解することで、読書を生活に役立てて自己を向上させようとする意欲を高める。

2 評価の観点と方法

(1) 評価の観点

観点	趣旨
①関心・意欲・態度	国語に対する関心を持ち、文章を工夫して書いたり、本を読んだり、話し合いに参加したりしようとする。
②話す・聞く能力	自分の考えを大切に、相手にとってわかりやすい話し方をしたり、的確に相手の話を聞き取ったりする。
③書く能力	様々な材料を活用することで自分の考えをまとめ、筋道を立てて伝えることで、自分の立場を明らかにした読みやすい文章を書く。
④読む能力	文章を読むことで、書き手の思いや意見を理解し、多様なものの見方や考え方、表現の効果をとらえる。
⑤知識・理解	漢字の書きや読み、慣用句や四字熟語、口語文法などについての知識を身につけている。

(2) 評価の方法

観点 \ 評価材料	定期 考査	確認 テスト	小テスト	発言 発表	作文	作品	ノート	宿題
①関心・意欲・態度				○	○	○	○	○
②話す・聞く能力				○			○	
③書く能力	○				○	○	○	○
④読む能力	○			○	○			○
⑤知識・理解	○	○	○					○

3 年間の授業計画

(「学習内容A」と「学習内容B」は、異なる担当者が授業を行います。)

学期	時期	学習内容A	学習内容B	評価の観点	考査等	
一学期	四	大江健三郎 「吟味された言葉」	星野博美「昔話」 なだいなだ「逃げることは、ほんとにひきょうか」	①筆者の主張をまとめることができる。 ②言葉に関心を深め理解しようとしている。 ③グループワークの中で質問しながら聞き取り、自分の考えを整理することができる。 ④文章と日常を結びつけながら材料を集め、自分の考えを簡潔に書くことができる。	中間 テスト	
	五	【口語文法】 中1範囲復習 動詞の活用	修養会事前学習 島崎藤村「初恋」 漢字テスト(中1範囲復習+中2範囲)	①「島崎藤村」の生涯について理解できる。 ②詩の中から材料を集め、参考にしながら、自分の考えを書くことができる。 ③詩の表現技法に着目し、その効果についても整理することができる。		
	六	河合雅雄「若者が文化を創造する」	安岡章太郎 「サーカスの馬」 漢字テスト(中2範囲) 朗読発表会練習	①文章に表れているものの見方や考え方を、とらえることができる。 ②積極的に自分の考えを発表している。 ③擬態語・擬声語など、音声の働きや仕組みを理解できる。 ④内容に応じた的確に文章を朗読できる。	期末 テスト	
	七	【口語文法】 形容詞の活用 形容動詞の活用	漢字テスト(中2範囲)	①風景描写と心情について理解できる。 ②事実と意見とを読み分けることができる。 ③漢字の音訓の知識を深めることができる。 ④指示語と接続語について理解できる。 ⑤相手を意識して、分かりやすい言葉で説明することができる。		
	二学期	九	「源平争乱の歴史語り——平家物語」 【口語文法】 副詞・連体詞	太宰治「走れメロス」 漢字テスト(中2範囲)	①「メロス」を通して、人間のありかたについて考えている。 ②文章の構成や展開、表現の特徴について、関心を持つことができる。 ③登場人物の描写に注意して読み、内容理解に役立てることができる。 ④作品に込める作者の思いを理解できる。	中間 テスト

	一〇			<p>①古典の世界観に関心を持つことができる。</p> <p>②古文単語の意味を理解することができる。</p> <p>③文脈における語句の意味を的確にとらえ、場面ごとの内容を整理することができる。</p> <p>④歴史的仮名遣いなど、文語の決まりが理解できる。</p>	
	一一	川崎洋「地下水」 田口ランディ 「クリスマスの仕事」	漢文の読み方 「論語」 星野道夫 「アラスカとの出会い」	<p>①漢字の成り立ちを理解し、漢和辞典を使いこなして、活用できている。</p> <p>②故事成語の由来を理解し、日本の伝統的な考え方にふれ、自分の見方や考え方を広げるきっかけとすることができる。</p> <p>③漢文の訓読の方法・順番が理解できる。</p>	期末 テスト
	一二	【口語文法】 接続詞・感動詞	漢字テスト（中2範囲）	<p>①「随想」という作品に興味を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。</p> <p>②文脈における語句の意味を理解できる。</p> <p>③段落の役割を考えて文章が書ける。</p> <p>④話し言葉と書き言葉の違いを理解できる。</p>	
三 学 期	一	石垣りん「挨拶」 ジョー＝オダネル 「目撃者の眼」	短歌15首 （正岡子規・石川啄木を 中心に） 夏目漱石「坊っちゃん」	<p>①31文字の制約と効果が理解できる。</p> <p>②話し合うべき話題や方向をとらえて、的確に話すことができる。</p> <p>③自分の考えを、根拠を付けて発表できる。</p>	学年末 テスト
	二	【口語文法】 助詞	漢字テスト （中3範囲先取り）	<p>①目的と必要に応じて、文章を要約したり、要旨をとらえたりすることができる。</p> <p>②他人の立場を理解して文章を表現できる。</p> <p>③相手の反応をふまえて話すことができる。</p>	

● 2017 中学3年 必修教科「国語」 授業のシラバス

教科名	国語	科目名	国語	単位数	4
教科の目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を養成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い、心情を豊かにし、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。				
教科書	中学校国語3(学校図書)	副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の文法教室(全教材) ・国語活用資料集東京都版(新学社) ・級別字典漢字の反復練習(浜島書店) 		

1 学習の目標

- (1) 他者の話や文章の内容を的確に聞き、理解する能力を高める。
- (2) 目的や場面に応じて自分の考えをまとめ、的確に話し、書き表す能力を高める。
- (3) 文法を理解し、言葉遣いに気をつけ、文字を正しく丁寧に書けるようにすることで、言葉を大切にする姿勢を養う。
- (4) 新たな言葉を知り、身につけることによって語彙を増やし、豊かな表現力を養う。
- (5) 様々な種類の文章を読むことによって、小説や韻文では想像力を伸ばして豊かな心を育み、説明文や評論文では論理的な思考力を高める。
- (6) 古典分野において、古文は歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの確認、簡単な古語単語の理解、現代語訳の方法を学習する。作品から日本語の美しさを知り、古文を読むための基礎的な知識を修得する。また暗誦など音読も重視し、古文のリズムを体得する。漢文は基礎知識、白文、訓読文、書き下し文などを理解し、訓点のつけ方、訓読法などに取り組む。また作品を通じて、中国の古典が日本文化と日本語に与えた影響を理解するとともに、漢詩では基礎的な知識やルールを学ぶ。
- (7) 書写において、さまざまな書体を用いて「漢字」「かな」の運筆(毛筆・硬筆)を行い、文字を正しく丁寧に、そして美しく書けるようにすることで言葉を大切にする姿勢を養う。
- (8) 読書に親しみ、ものの見方や考え方を広げようとする態度を育て、国語を学ぶ意欲を高める。

2 評価について

(1) 評価の観点

観点	趣旨
①関心・意欲・態度	国語に対する関心をもち、文章を工夫して書いたり、本を読んだり、話し合いに参加したりしようとする。
②話す・聞く能力	自分の考えを大切に、相手にとってわかりやすい話し方をしたり、的確に相手の話を聞き取ったりする。
③書く能力	様々な材料を活用することで自分の考えをまとめ、筋道を立てて伝えることで、自分の立場を明らかにした読みやすい文章を書く。
④読む能力	文章を読むことで、書き手の思いや意見を理解し、多様なものの見方や考え方、表現の効果をとらえる。
⑤知識・理解	漢字の書きや読み、慣用句や四字熟語、口語文法などについての知識を身につけている。

(2) 評価の方法

観点	評価材料	定期 考査	確認 テス	小テ スト	発言 発表	作文	作品	ノート (プリント)	宿題
①	関心・意欲・態度				○	○	○	○	○
②	話す・聞く能力				○			○	
③	書く能力	○				○	○	○	○
④	読む能力	○			○	○			○
⑤	知識・理解	○	○	○					○

3 授業計画

学期	月	単元	学習内容	評価の観点	考査	
一 学 期	四	4 伝統	「発見する言葉—枕草子」(古文)	①中古の貴族の文化とものの考え方に関心を持つことができる。 ②古文単語の意味を理解することができる。 ③文脈における語句の意味を的確にとらえ、内容を整理することができる。 ④歴史的仮名遣いなど、文語の決まりが理解できる。	中 間	
		1 絆	鷺沢萌「ケナリも花、サクラも花」(随想)	①コミュニケーションについて考えようとしている。 ②表現から人物の思いを捉えようとしている。 ③筆者の思いや考えを理解している。		
		2 生命	井上ひさし「握手」(小説)	①生について考えようとしている。 ②手や指の使い方の違いから意味や真理を捉えようとしている。 ③握手に込められた心理や暗示について理解している。 ④「私」の心理を捉え、思いを理解している。		
	五	漢字 文法	漢字テスト(準2級・中学3年程度) 第八章 付属語	○一画一画丁寧に、とめ・はね・はらいを正しく書ける。 ○付属語の特徴と助詞について理解している。		
		六	2 生命	井伏鱒二「黒い雨」		①研修旅行の事前学習として学習し、歴史的な背景を理解している。 ②認識を超えた体験を記述する方法や描写の特徴を理解している。 ③戦災や災害の渦中にある人々の苦悩や状況を理解している。
			俳句	①俳句の表現に込められた思いや情景、作品が書かれた社会的状況を理解している。 ②俳句特有の表現を理解している。 ③季語とその働きを理解している。 ④俳句と短歌の違いを理解している。 ⑤俳句を作っている。		
		七	漢字 朗読発表会	漢字テスト(準2級・中学3年程度) 古典の朗読		○一画一画丁寧に、とめ・はね・はらいを正しく書ける。 ①つかえずに読める。 ②聞き取りやすい、大きくはっきりとして読み方である。 ③適度に間を取って読める。 ④感情を込めて読める。
文法	第八章 付属語		○付属語の助動詞について理解している。			
					期 末	

学期	月	単元	学習内容	評価の観点	考査
二 学 期	九	3 群像	能登路雅子「ディズニーランドという聖地」(説明・評論) ----- 玉木正之「運動会」(説明・評論) ----- 内山節「武蔵野の風景」(説明・評論)	①論理的な文章を問題意識を持って読み通そうとしている。 ②内容について理解を深め、それを知識として身につけている。 ----- ①視点に着目して筆者の主張を捉えている。 ②段落構成から論理展開や文章展開を捉えている。 ----- ①論理的表現の深め方を捉えようとしている。 ②思考を深めたり広げたりする上で、歴史から発想を得る方法がどのように有効に働いているかについて理解している。 ----- ③論理的表現の深め方を理解している。	中 間
		漢字 文法	漢字テスト(準2級・中学3年程度) 第九章 文法と表現	○一画一画丁寧に、とめ・はね・はらいを正しく書ける。 ○文の構造やコミュニケーション表現、敬語について理解している。	
		4 伝統	「言葉との出会い」(説明・評論) 「歌の源流へ―万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」(古文) ----- 「言葉が見た風景―おくのほそ道」(古文)	①歌が、どのような情景、人間関係、心情を詠んでいるか理解している。 ②意味のまとまりや句切れ、さまざまな修辞法について理解している。 ----- ①「旅立ち」から、芭蕉が自分をどのような伝統文化の中に位置づけているか、旅に出たいという強い気持ちがどのように表されているか、表現に即して理解している。 ②「平泉」を「草むら」に着目して理解している。 ③芭蕉の人生観を理解している。	
	十 二	5 世界	猪口邦子「パール・ハーバーの授業」(随想)	①国際社会における人間のあり方について考えようとしている。 ②授業を通じた「私」の変化について理解している。 ③比較することの効果を理解している。	
		書写	毛筆・硬筆	○文字を正しく、丁寧に、美しく書ける。	
		漢字 文法	漢字テスト(準2級・中学3年程度) 第十章 まぎらわしい語の識別	○一画一画丁寧に、とめ・はね・はらいを正しく書ける。 ○まぎらわしい語を識別することができる。	
11	4 伝統	「言葉との出会い」(説明・評論) 「歌の源流へ―万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」(古文) ----- 「言葉が見た風景―おくのほそ道」(古文)	①「旅立ち」から、芭蕉が自分をどのような伝統文化の中に位置づけているか、旅に出たいという強い気持ちがどのように表されているか、表現に即して理解している。 ②「平泉」を「草むら」に着目して理解している。 ③芭蕉の人生観を理解している。	期 末	

学期	月	単元	学習内容	評価の観点	考査
三 学 期	一	5 世界	魯迅「故郷」(小説)	①「閩土」「私」「楊おばさん」の変化を理解している。 ②「私」と「閩土」の再会の悲しみについて、二人の変化と再会時の言動を踏まえて理解している。 ③登場人物の変化に象徴された時代状況を理解している。 ④空や月の描写が象徴するもの、その描写の役割を理解している。 ----- ⑤「私」の希望や願いを理解している。 ⑥視点を変えて作品を捉え直すことによって、読解が深まることを理解している。	学 年 末
		4 伝統	漢詩(漢文)	①対句や起承転結の構成について、理解している。 ②それぞれの漢詩が、どのような情景、人間関係、心情を描いているか、理解している。 ③漢詩が日本古典に与えた影響を確認している。	
		漢字 百人一首	漢字テスト(準2級・中学3年程度) カルタ取り	○一画一画丁寧に、とめ・はね・はらいを正しく書ける。 ①百人一首を覚えていく。	
	三	書写	毛筆・硬筆	②上の句を聞いて礼を取ることができる。	
		漢字 文法	漢字テスト(準2級・中学3年程度) 第十一章 文語のきまり	○文字を正しく、丁寧に、美しく書ける。 ○文語のきまりについて理解している。	
		漢字 文法	漢字テスト(準2級・中学3年程度) 第十章 まぎらわしい語の識別	○まぎらわしい語を識別することができる。	

※その他、読解の授業の冒頭で、毎回百人一首・漢文の素読等の音読を行う。

◇ 高校1年 必修科目「国語総合」現代文 授業のシラバス ◇

教科名	国語	科目名	国語総合 現代文	単位数	2
教科の目標	国語を適切に表現し、正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。				
教科書	国語総合現代文編（大修館書店）	副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・改訂版 常用国語便覧（浜島書店） ・大学入試漢字 TOP2000（いわずな書房） ・改訂版 よむナビ現代文1（浜島書店） 		

1 学習の目標

- (1) 近現代の小説を鑑賞するとともに、その作品に流れる世界観を味わい、自らの感性を育てる。
- (2) 近現代の評論を読み、様々な見方・考え方が存在することを知るとともに、論理的な思考能力を高める。
- (3) 様々な作品を通して自分の考えを構築するとともに、「時と場」に応じて発言できる能力を身につける。

2 学習の方法

(1) 予習

- ①新しい単元に入る時には、全文を一度読む。
- ②意味がわからない語句を辞書で調べ、ノートにまとめる。

(2) 授業

- ①教科書、ノート、常用国語便覧、辞書を持参する。
- ②教科書をよく読み、教員の説明にきちんと耳を傾け、必要に応じて発言をする。
- ③板書されたことをノートに書き写すだけでなく、教員の解説、クラスメイトの発言、自分で考えたことなどを積極的にノートにまとめ、自分独自のノートが作れるように努力する。
- ④配布されたプリントの理解に努め、意見交換がある場合は積極的にその機会を活用する。

(3) 終礼テスト

- ①年間計画に従って、週1回、漢字や語句の小テストを行う。
- ②とった点数は定期テストごとに換算され、平常点に含める。

(4) 問題集

- ①自宅学習として、演習問題に取り組む。（授業で扱う場合もある。）
- ②定期的に課題として取り組み、提出した分については、平常点に含める。

3 評価の観点と方法

(1) 評価の観点

観点	趣旨
①関心・意欲・態度	国語に対する関心を持ち、文章を工夫して書いたり、本を読んだり、話し合いに参加したりしようとする。
②話す・聞く能力	自分の考えを大切に、相手にとってわかりやすい話し方をしたり、的確に相手の話を聞き取ったりする。
③書く能力	さまざまな材料を活用することで自分の考えをまとめ、筋道を立てて伝えることで、自分の立場を明らかにした読みやすい文章を書く。
④読む能力	文章を読むことで、書き手の思いや意見を理解し、多様なものの見方や考え方、表現の効果をとらえる。
⑤知識・理解	漢字の書きや読み、慣用句や四字熟語、口語文法などについての知識を身につけている。

(2) 評価の方法

観点	評価材料	定期 考査	確認 テスト	小テスト	発言 発表	作文	作品	ノート	宿題
①関心・意欲・態度					○	○	○	○	○
②話す・聞く能力					○			○	
③書く能力		○				○	○	○	○
④読む能力		○			○	○			○
⑤知識・理解		○	○	○					○

4 年間の授業計画

学期	時期	単元(章)	学習内容	評価の観点	考査等	
一 学 期	四	芥川龍之介 『羅生門』	①小説を読み、構成、場面や登場人物の描写を捉える ②近代小説の名作に親しみ、小説の読み方の基礎を固める ③ものの見方や考え方を広げたり深めたり、人間のエゴイズムについて考える	①主題を追求しようとする ②登場人物の心理の変化について読み取る ③小説の構成を意識して読む ④芸術や人間の生き方について深く考える	ノート 課題プリント	
	五	鷲田清一 『他者を理解すること』	①評論を読み、筆者の主張や考えの要点を文章に即して捉える ②論理の展開をつかむ ③現代社会におけるコミュニケーションについて考えを深める	①筆者のものの見方や考え方を読み取る ②評論の基本を学ぶ ③「他者」とのコミュニケーションについて考える	小テスト	
	中間試験					
	六	吉田秀和 『ヘンデルと力士』	①評論を読み、筆者の主張や考えの要点を文章に即して捉える ②文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価する ③音楽論、芸術論を味わう	①筆者のものの見方や考え方を読み取る ②論理的な文章の構成を理解する ③筆者の発想や表現に見られる豊かな独創性を理解する ④音楽のもつ「表現の力」を理解する	ノート	
七	夏目漱石 『夢中夜』	①小説を読み、構成、場面や登場人物の描写を捉える ②精読をし、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする ③小説における「虚構」について考え、その意味を考える ④夏目漱石という文学者やわが国の近代文学について、基本的な知識を持つ	①主題を追求しようとする ②象徴性の高い小説に取り組み、その寓意を読み深める ③作中の人物の心理や述懐をていねいに読みながら、作品が訴えてくるものを把握する	課題プリント 小テスト		
期末試験						

二期 期	九	川上弘美 『水かまきり』	①小説を読み、構成、場面や登場人物の描写を捉える ②現代小説に親しみ、小の楽しみを味わう ③自己を振り返り、見つめ直す契機とする	①主題を追求しようとする ②登場人物の心理の変化について読む ③現代の短編小説の魅力を味わう ④巧みな表現の効果を理解し、作品全体を鑑賞する力を養う	ノート
	一〇	柏木博 『「しきり」の文化論』	①評論を読み、筆者の主張や考えの要点を文章に即して捉える ②抽象的な内容の評論文の文意を適切に把握する ③表現や論の展開に注意して、筆者の独創的なものの見方・考え方に迫る	①主題を追求しようとする ②論理的な文章の構成を理解する ③筆者の考えを叙述に即して的確に読み取る ④生活の中にある「しきり」に気づき、その文化的な役割を理解する	課題プリント 小テスト
	中間試験				
二期 期	一一	福岡伸一 『生きることと食べることの意味』	①評論を読み、筆者の主張や考えの要点を文章に即して捉える ②文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む ③「科学的エッセイ」のおもしろさを知る	①主題を追求しようとする ②論理の展開に即して筆者の主張を読み取り、生命に対する認識を深める ③生命現象に興味関心をもち、それを論じた文章を読むことで、自分なりの思索を行う	ノート 課題プリント
	一二	森鷗外 『高瀬舟』	①小説を読み、構成、場面や登場人物の描写を捉える ②登場人物の行動や心情の変化を正確に読み取り、生き方、考え方について、自分の考えをまとめる	①主題を追求しようとする ②作品の構成や展開の仕方を理解し、人間や人間社会についての考えを深める	小テスト
	期末試験				
三期 期	一	四方田犬彦 『「かわいい」現象』	①評論を読み、筆者の主張や考えの要点を文章に即して捉える ②事実と事実をつなぐ筆者の論理を的確に読み取る ③現象の奥に潜む意味を読み解く方法を学ぶ	①主題を追求しようとする ②論理の展開に即して筆者のものの見方や考え方を正確に読み取る ③現代の日本文化に興味を持ち、深く考える	ノート
	二	志賀直哉 『城の崎にて』	①小説を読み、構成、場面や登場人物の描写を捉える ②緻密な構成、対の構造などに注意し、短編小説の特色や面白さを味わう ③簡潔な文体の特色や表現の効果について考え、言葉の感性を磨く	①主題を追求しようとする ②作品の構成や展開を正しく捉え、生き生きとした描写を味わい、人間や生と死についての考えを深める	課題プリント 小テスト
	学年末試験				

高1必修科目 「国語総合」古典 授業のシラバス

教科名	国語	科目名	国語総合	対象	全クラス	単位数	3単位
教科の目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。						
教科書	教科書国語総合古典編(大修館書店)	副教材	読解をたいせつにする体系古典文法(数研出版) 読解をたいせつにする体系古典文法学習ノート(数研出版) わかる・読める・解ける Key&Point 古文単語330 (いいずな書店) これでわかる基本漢文マスター(文英堂) 常用国語便覧(浜島書店)				

1 学習の目標

- (1) 古文において、文語のきまりを理解し、語彙を豊かにし、言語文化の特質や、伝統と文化について理解を深め、作品を読み味わう力を身につける。
- (2) 漢文において、訓読のきまりを理解し、語彙を豊かにし、言語文化の特質や、日本文化と中国文化の関係について理解を深め、作品を読み味わう力をつける。
- (3) 古文・漢文の様々な文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする力を養う。
- (4) 物語全体の流れを理解することを大切にし、文法学習事項は文全体の理解のために学ぶ。
- (5) 高1での予習、復習を通して、今後3年間の自主学習の習慣をつけることを目指す。
- (6) 讚美歌の歌詞に触れ、歌詞の言葉に親しみ、理解に繋げる。

2 学習の方法

(1) 予習について

〈古文〉(詳しくは年度当初の授業にて説明)

- ①本文をノートに書き写す。必ず音読する。
- ②単語を、古語辞書や「古文単語330」を用い、意味調べをする。
- ④便覧を使って、作品の出典について調べたものをまとめる。

〈漢文〉(詳しくは年度当初の授業にて説明)

- ①本文をノートに書き写す。必ず音読する。
- ②書き下し文を書く。

(2) 授業について

古文の場合、文語のきまりを理解し、文の構成を把握して文章の展開や流れをつかみ主題を理解し作品を読み味わうようにする。

漢文の場合、訓読のきまりを理解し、基本的な句形や文の構成を把握して主題を理解し作品を読み味わうようにする。

(3) 復習について

- ①本文の内容を自分で現代語訳できるか、確認をする。古文の場合、古語の意味、文法事項、表現技法に注目する。その際、一文一文の主語をとらえることが重要である。
- ②作品の中心となっている事柄をまとめる。
- ③シラバスに記された学習内容を項目ごとに理解しているか確認し、不十分な部分はノートや課題プリント等を通して再確認する。

(4) 小テストについて

1年間を通して、「古文単語330」の入試必修語 1～150番までを覚える。最重要敬語151～180番は必要に応じて授業内で扱う。テストの日時は、定期期末考査ごとに発表する。また授業内で触れた文法事項を盛り込むこともある。

〈学習アドバイス〉

古文が読めるようになるためには、まず文語文法の知識と語彙力を身につけておく必要があります。一つ一つの言葉の意味を理解することが一番のポイントです。

次に一文が長く、主語が明示されていないのが古文の特徴です。意味的なまとまりに分けながらあらすじをつかみ、時代背景や日本の伝統文化に興味を持ちながら読んでいきましょう。また日常の学習では本文を声に出して読み進め、古文独特の言い回しや表現になれるように心がけましょう。

3 評価について

(1) 評価の観点

観点	趣旨
①関心・意欲・態度	古典への関心を持ち、積極的に理解しようとしている
②話す・聞く能力	
③書く能力	
④読む能力	古典を正確に読み取る
⑤知識・理解	文語のきまりや訓読の決まりを理解し、古文常識、語彙力を身につける

(2) 評価の方法

観点	評価材料	定期	単元	小	実技	発言	作品	レ	ノ	ワー
		考査	テ	テ	実	発	作	ポ	ー	ク
①関心・意欲・態度						○			○	
②話す・聞く能力										
③書く能力										
④読む能力		○		○		○				○
⑤知識・理解		○		○						○

〈担当者からのメッセージ〉

*まず高1では古文に慣れることが大切です。慣れるためにはいくつかのルールを覚えていかななくてはなりません。授業を通して、古文に慣れ興味を持ってもらいたいと思います。

*各単元の終了時には、ノート回収をします。指示されていることを守り、期日どおり提出しましょう。

*今年度の中心事項は以下とします。入門に必要な事項ですので、繰り返し学習してください。

- ①歴史的仮名遣いを学ぶ
- ②古文の滑らかな音読ができるようになる。
- ②古語について、古文特有の語、古今異義語を理解する
- ③品詞分解が出来るようにする（音読・文節分け・品詞分類表の理解の徹底を目指す）
- ④内容の捉え方を学ぶ（文の構成、特に主語について把握する。）
- ⑤用言（動詞・形容詞・形容動詞）を理解する
- ⑥助動詞（過去・打消・受身可能自発尊敬・完了・推量等）を理解する

○7月、10月、1月に行われる模擬試験では、文法事項中心に50点満点のうち、50パーセントの得点率を目標にして授業を行います。

4. 授業計画

<古文>

	月	単元	学習内容	評価の観点	考査等
一 学 期	4月 5月 (10)	古文入門『宇治拾遺物語』児のそら寝	1 文語の特徴の理解 2 歴史的仮名遣いの理解 3 説話の特徴と面白さの理解	① 古文に触れ、ノート作り、授業を含めて親しもうとしている② 話の理解ができる③ 音読、文節分け、歴史的仮名遣いを理解している	ノート 課題プリント 小テスト
		随筆入門『枕草子』雪のいと高う降りたるを	1 平安朝の雰囲気を知る 2 主語を加える方法を知る(接続助詞の活用) 3 用言の活用を学ぶ 4 係り結びの法則を理解する 5 古文における敬語の位置づけを理解する	① 平安時代のものの見方や考え方の理解につとめる。② 用言の活用、接続助詞「ば」の条件法、係り結びの法則を理解する ③ 敬語の種類を知識として得る	ノート 課題プリント 小テスト
	中間試験				
	6月 7月 (9)	古文入門『宇治拾遺物語』絵仏師良秀	1 音読を通して説話を読み味わう 2 説話への興味関心をもつ 3 古今異義語の理解 4 品詞の理解	① 話の展開を読み取ろうとしている② 説話の特徴と文学史を理解している③ 古今異義語を知り、理解をする④ 基本的な文法事項を意識しながら読み、意味を理解しようとする	ノート 課題プリント 小テスト
随筆『徒然草』高名の木登り		1 随筆の特徴と文学史の理解 2 古文の音読に慣れる 3 用言の活用の理解 4 助動詞の用法の理解 5 作者の人生観、人間観、鋭い批評を読み取る	① 作者の視点を読み取ろうとしている② 随筆の特徴と文学史を理解している③ すでに学んだ文法事項の基礎を復習しながら定着させる	ノート 課題プリント 小テスト	
期末試験					
二 学 期	9月 10月 (11)	随筆『枕草子』春はあけぼの	1 音読を通して古文の読みに慣れる 2 用言の活用の理解 3 助動詞の用法の理解 4 敬語の種類についての理解 5 作者の見方や感じ方、考え方を理解する	① 作者の視点を読み取ろうとしている② 随筆の特徴と文学史を理解している③ 文法事項を意識して自分の力で内容を理解しようとしている④ 音読に意欲的に取り組み、『枕草子』のリズムに親しむ	ノート 課題プリント 小テスト
		日記『土佐日記』門出帰京	1 助動詞の様々な意味の理解 2 地の文と和歌の関係の理解 3 作者の心情理解	① 日記文学に関する興味関心を持つ ② 文体の特徴を理解させ、作者の人間性やものの見方を捉える ③ 和歌の修辞を学ぶ	ノート 課題プリント 小テスト
	中間試験				
	11月 12月 (11)	物語『伊勢物語』芥川	1 助動詞の様々な意味の理解 2 和歌の解釈に慣れる 3 歌物語の特徴と文学史の理解	① 歌物語の世界を味わう ② 和歌に託された思いをつかむ ③ 一つひとつの語句の意味に注意して丁寧に解釈する	ノート 課題プリント 小テスト
物語『伊勢物語』筒井筒		1 助動詞の様々な意味の理解 2 和歌の形式と修辞法の理解 4 歌物語の特徴と文学史の理解	① 歌物語の世界を味わう ② 和歌に託された思いをつかむ ③ 助動詞の用法と和歌の修辞法を理解する	ノート 課題プリント 小テスト	
三 学 期	1月 2月 3月 (12)	軍記物語『平家物語』木曾の最期	1 平家物語の概略、特徴を学ぶ 2 「木曾の最期」に描かれた武将たちの人間像に触れる 3 会話を多く含んだ表現の特色を理解する	① 軍記について理解している ② 登場人物の行動と心情を理解している ③ 古文の調子を味わい朗読をしている ④ 「祇園精舎」に表れた思想を理解している	ノート 課題プリント 小テスト
		学年末試験			

<漢文>

	月	単元	学習内容	評価の観点	考査等
一 学 期	4月 5月 (5)	漢文入門	1 漢文の構造と訓読の理解 2 助字・否定形の理解 3 音読に慣れる	① 訓点の決まりを理解している ② 助字・否定形が入っている例文を正しく音読し、書き下すことができる	ノート 課題プリント
	中間試験				
	6月 7月 (4)	故事 「朝三暮四」 「蛇足」	1 漢文の訓読に慣れる 2 助字と再読文字の理解 3 故事成語の意味の理解	① 関心を持って漢文に親しもうとしている ② 再読文字の用法の理解ができる ③ 故事成語の成り立ちを理解できる	ノート 課題プリント
	期末試験				
二 学 期	9月 10月 (5)	史伝 「臥薪嘗胆」 漢文常識	1 歴史に登場する中国の人々の考えを知る 2 疑問形・反語形の理解 3 現代の日本語との単語の違い	① 中国の歴史に関心を持ち取り組む ② 人物関係を整理しながら読むことができる ③ 疑問・反語を理解できる	ノート 課題プリント
	中間試験				
	11月 12月 (6)	史伝 「隗より始めよ」	1 歴史に登場する中国の人々の考えを知る 2 抑揚形・使役形の理解	① 例え話が伝えたかったことを読み取る ② 抑揚形・使役形を理解できる ③ 現代の意味を理解できる	ノート 課題プリント
三 学 期	1月 2月 3月 (8)	漢詩 「春望」 「静夜思」 「元二の安西に 使ひするを送る」 論語	1 漢詩のきまりの理解 2 詩に託された作者の思いを知る 3 代表詩人の特徴の理解 4 儒家の思想を知る 5 音読し、漢詩や論語の音の響きを楽しむ	① 漢詩に託された作者の感性に関心を持つ ② 漢詩のきまりを理解している ③ 古代思想を理解する ④ 漢詩の音読を積極的にしている	ノート 課題プリント
	学年末試験				

高2 必修科目 「現代文B」 授業シラバス

教科名	国語	科目名	現代文B	単位数	2単位
教科の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。				
教科書	精選現代文B（東京書籍）	副教材	改訂版 常用国語便覧（浜島書店） 大学入試漢字 TOP2000（いっずな書房）		

1. 学習の目標

- (1) 近現代の小説を鑑賞するとともに、その作品に流れる世界観を味わい、自らの感性を育てる。
- (2) 近現代の評論を読み、いろいろな見方、考え方が存在することを知ると同時に論理的な思考能力を高める。
- (3) さまざまな作品を通して自分の考えを構築すると同時に、時と場面に応じて発言できる能力をつける。
- (4) 必要な材料をもとに自分の考えをまとめ、短い文章に論理的にまとめる力を涵養する。

2. 学習の方法

(1) 予習

- ①新しい単元に入る時には、全文を一度読む。
- ②意味のとれない語句を辞書で調べ、ノートにまとめる。

(2) 授業

- ①教科書、ノート、常用国語便覧、辞書を持参する。
- ②教科書をよく読み、教員の説明にきちんと耳を傾け、必要に応じて発言をする。
- ③板書されたものをノートに書き写すだけでなく、教員の解説、クラスメートの発言、自分で考えたことなどを積極的にノートにまとめ、自分独自のノートを作るように努力する。
- ④配布されたプリントの理解に努め、意見交換がある場合は積極的にその機会を活用する。
- ⑤作品を通して考えたことなどを定期的に授業時間内に800字程度の文章として論理的に書く練習をする。
- ⑥演習問題を行う場合もある。

(3) 復習

- ①授業内で学習したことを見直す。

(4) 終礼テスト

- ①年間計画に従って、週1回、漢字の小テストを行う。
- ②とった点数を換算して平常点に入れる。

3. 評価について

(1) 評価の観点

観点	趣旨
①関心・意欲・態度	国語と言語文化に関する関心を深め、国語を尊重しその向上を図り、進んで表現したり理解したりしようとする。
②話す・聞く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。
③書く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて適切に文章を書く。
④読む能力	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて近代以降の様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。
⑤知識・理解	表現と理解に役立つための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字・文学史などを理解し、知識を身につける。

(2) 評価の方法

観点	評価材料	定期試験	単元テスト	小テスト	実技実習	発言発表	作品	レポート	ノート	ワークシート	討議	課題集
①	関心・意欲・態度					○		○	○		○	
②	話す・聞く能力					○						
③	書く能力							○	○			
④	読む能力	○										
⑤	知識・理解	○		○								

4. 授業計画

月	単元と教材 (配当予定時間数)	学習内容	評価の観点	定期試験等
4	1. 小説『沈黙』(新潮文庫) (遠藤周作) (10時間)	①小説を読み、場面や登場人物の描写を的確に捉える。 ②キリスト教の布教の歴史を知るとともに、当時のキリシタンたちの考えを知り、「踏み絵」を通して信仰について考える。 ③研修旅行の事前学習として捉える。	①主題を追求しようとする。 ②小説1冊を読み、全体の流れを理解するとともに、当時の歴史的状況を把握する。 ③登場人物の行き方を捉え、それぞれの生き方について理解する。	中間試験
5				
6	2. 評論『ミロのヴィーナス』 (清岡卓行) (4時間)	①評論を読み、筆者の主張や考えの要点を文章に則して的確に捉える。 ②詩人としての筆者の感性を通して、美と芸術の本質を学ぶ。	①主題を追求しようとする。 ②筆者の感性を理解するとともに、評論の基本を学ぶ。	
7	3. 評論『相手依存の自己規定』 (鈴木孝夫) (4時間)	①評論を読み、筆者の視点や観点が対象への着眼、発想に結びつくことを理解する。 ②日本語の言語現象を通して、日本人の自我構造の特質を学ぶ。	①主題を追求しようとする。 ②筆者の意図を、表現に注意しながら的確に捉える。	期末試験
9	4. 小説『山月記』(中島敦) (6時間)	①小説を読み、人が虎に化すという伝奇的な作品を理解するとともに、主人公の苦悩、孤独に触れ、人間理解を深める。 ②漢語や漢文脈の文体に触れ、その美しさを味わう。	①主題を追求しようとする。 ②登場人物の生き方や感じ方を通して、自己形成の途上にある自分を見つめる。	中間試験
10	5. 評論『日本人の美意識』(高階秀爾) (5時間)	①評論を読み、提示された問題に対し自分なりの見解や意見を持つ。 ②日本の美意識の特質について	①主題を追求しようとする。 ②西欧人と日本人との対比の中で日本の美や文化への関心を理解する。	

2017年度 高校2年古典シラバス

教科名	国語	科目名	古典B	対象クラス	推薦・文系受験	単位数	2単位
科目の目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理目標解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。						
使用教科書	精選古典B 古文編（東京書籍） 精選古典B 漢文編（東京書籍）		使用副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・常用国語便覧（浜島書店） ・わかる読める解ける古文単語330（いいずな書店） ・必携古典文法（明治書院） ・必携古典文法準拠ノート（明治書院） ・古典攻略 読む！問題集(明治書院) ・大学入試国語頻出問題1200 			

1 学習の目標

- (1) 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。また、使用された語句や文法事項、表現技法が文章の表現に与える深みを味わう。
- (2) 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。特に、文章の中心となる事柄に注目し、登場人物の考え方や心情、筆者の主張などを的確にとらえる。
- (3) 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。特に、古人の思想や感性に触れ、伝統的なものの考え方や価値観について考えるとともに、古人と現人との価値観や考え方の違いについて考える。
- (4) 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察する。
- (5) 古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深める。

2 学習の方法

(1) 予習について

○シラバスを用いて学習内容を確認し、ノートや指定されたプリントを用いて以下の事項を行う。（尚、予習方法の詳細については、年度当初に配布される『授業の進め方について』のプリントに記された内容を参考にすること。）

- ① 新しい単元に入る時は本文を全文読み、ノートに書き写す。尚、本文を読む際は必ず音読すること。
- ② 別紙本文プリントを用いて音読をしながら、古文の場合は各文節に斜線を入れて文節に区切り、漢文の場合は書き下し文に直す。
- ③ 語句の意味調べをする。（古文の場合、品詞分解をし、分からない言葉は古語辞書を用いて全て調べ、漢文の場合は、句形に注意しながら、分からない言葉は漢和辞典で調べ、句形は漢文マスターで調べること。）
- ④ 作品の出典について、指定された便覧、辞典等を利用して調べ、レポート用紙等にまとめる。

(2) 授業について

- ① 文語の決まり（品詞と品詞の用法、活用、意味など）を理解し、文の構成を把握して、文章の展開や流れを掴む。
漢文の場合は、句形を意識して読み進め、漢文独特の言い回しやリズムに慣れながら、文章の展開や流れを掴む。
現代語訳を行う。

- ② 主題を理解し、作品を読み味わう。

- ③ 発問については、必ず自分で答えを出し、解答例と比較する。

(3) 復習について

○学習ノートに次のことを復習する。

- ① 古語の意味や文法事項、表現技法に注目し、自分で現代語訳を作成する。
句形や語句の意味に注目し、自分で現代語訳を作成する。
- ② 作品の中心となっていることがらについて、40字程度でまとめる。
- ③ シラバスに記された学習内容の項目ごとに理解しているかを確認し、不十分な部分はノートや課題プリント等を通して再確認する。
- ④ 語句の意味や文法事項など、覚えなければならない事柄について、繰り返し復習し、類似の問題を解く。

〈学習アドバイス〉

○古文が読めるようになるためには、まず文語文法の知識と語彙力を身につけてはいけません。一つ一つの言葉の意味を理解することが一番のポイントです。

次に、一文が長く、主語が明示されていないのが古文の特徴です。意味的なまとまりに分けながらあらすじをつかみ、時代背景や日本の伝統文化に興味を持ちながら読んでいきましょう。

また、日常の学習では、本文を声に出して読み進め、古文独特の言い回しや表現に慣れるよう心がけましょう。

○漢文に関しては、まずは漢文の構造を理解しましょう。そして、日頃から訓点に従って読み進める訓練をすることが大切です。さらに、漢文独特の読み方をする文字や、句形などを把握することが文章の内容を理解する上では大切です。しかし、古文よりも覚えなければならない事柄は限られているので、学習はしやすいと思います。繰り返し学習が鍵となります。頑張ってください。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
関心・意欲・態度	古典を読む楽しさを味わったり、伝統的な言語文化に触れることの意義を理解したりすることを重視し、古典への関心を高めようとしている
話す・聞く能力	
書く能力	
読む能力	人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、自分の考えを深めたり発展させたりしながら、古典としての古文を正確に読み取っている。
知識・理解	文語の決まりや訓読のきまりを理解し、また、文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙力を身につけている。

(2) 評価の方法（以下観点①～③は「(1) 評価の観点」と対応する）

評価材料 観点	定期考査	小テスト	実技実習	発言発表	作品	レポート	ノート	ワークシート	討議
関心・意欲・態度			△	○	○	○	○	○	△
話す・聞く能力									
書く能力									
読む能力	◎		△	○	○	○	△	○	△
知識・理解	◎	○		○		△	△	○	

※ 定期試験（80点満点）＋観点別評価（20点満点、平常点）＝100点満点として評価する。

〈担当者からのメッセージ〉

○各単元の終了時には、ノートの回収をします。調べたことや、自分の意見を書いて期日を守って提出しましょう。

○各単元の終了時には、学習課題プリント等の提出があります。出された課題は計画的に学習を進めてください。

○ワークシートは必ずノートに添付し、整理をしておきましょう。尚、プリントは番号順に添付すること。

○今年度の文法の中心事項は、以下とします。『古典文法』のテキストを参考にして繰り返し学習しましょう。

* 古典文法事項…推量の助動詞（含、打消推量・現在推量・過去推量・原因推量等）、推定の助動詞、比況の助動詞、願望の助動詞、助詞（特に格助詞、接続助詞、終助詞、副助詞）、副詞、和歌の修辭法、敬語

* 漢文文法事項…置き字・再読文字・使役・否定・禁止・疑問・反語・詠嘆・受け身・仮定・限定・抑揚・累加・比況・願望・接続・漢詩

○適当な時期に、レポート等の課題を課します。日常の学習では、文法事項や現代語訳だけに捕らわれず、古典の文章を読み味わう中で、内容の理解を深め、自らの考えを持ち、それを表現する習慣を身に付けるようにしましょう。

○模擬試験では、文法事項を中心に50点満点のうち50%の得点率を目標にして、授業を行います。

4 授業計画

学期	月	単元	学習内容	評価の観点	備考	
1	4 (6)	1 説話(6)	古文の読み方を確認する。 説話の展開や内容のおもしろさを味わう。	・文節を意識しながら音読することができる。 ・説話の特徴を理解し、内容を説明できる。		
		『宇治拾遺物語集』 ・小野篁、広才のこと	・この文章の主旨を読み取る。 ・帝と篁それぞれの発言に込められた気持ちについて理解する。	・文章の趣旨が読みとれている。 ・帝と篁の心情が理解できている。	・ノート ・課題プリント ・小テスト	
			・敬語表現、副詞、係助詞に注目し、適切な現代語訳をする。	・敬語表現、副詞、係助詞を理解し、適切な現代語訳できる。		
		『古今著聞集』 ・能は歌詠み	・「青柳の…」の歌に「大臣」が「感じ給ひ」た理由をまとめる。 ・「春霞…」の歌のおもしろさを説明する。	・「大臣」が感心した理由と「侍」が「能は歌詠み」と自負した理由を説明している。 ・春と秋の結び付け方を踏まえて、「春霞…」の歌のおもしろさを説明している。	・ノート ・課題プリント ・小テスト	
			・係助詞、接続助詞に注目し、適切な現代語訳をする。	・係助詞、接続助詞の働きを理解し、現代語訳することができる。		
		中間試験				
	5 (5)	2 物語1(4)	歌物語を読み、その特性について考える。 和歌に着目しながら、登場人物の言動や心情をとらえる。	・物語中の和歌の役割を理解し、内容説明ができる。 ・和歌に込められた登場人物の心情を理解することができる。		
		『蜻蛉日記』 ・なげきつつひとり寝る夜	・女の悩みについて、理由を考えながらまとめる。 ・二つの和歌の関係を考える。	・通い婚について理解を深め、当時の女性の生き方と和歌を通じての心情の吐露を理解する。 ・二つの歌の類似点を理解し、類似点の発生した理由を説明することができる。	・ノート ・レポート ・小テスト	
			『古典芸能について』(1) ・歌舞伎事前学習	・推量の助動詞、各助詞、和歌の修辞を理解し、適切な現代語訳をする。	・助動詞「けむ」、各助詞「して」、和歌の修辞法がもたらす効果を利用し、現代語訳することができる。	
		中間試験				
	6 (5) ・7 (1)	3 軍機物語(6) 「忠度の都落ち」	随筆を読み、自然や人間に対する、古人の優れた感性に触れる。 言葉の変遷という観点から古語と現代語を比較し、国語の特質について考える。	・中世の和漢混交文を読む。忠度の都落ちしていく心情を押さえ、その物語性を読み解く。		
		『枕草子』 ・九月ばかり	・本文に描かれている情景を文章にまとめる。 ・「いみじうあはれにをかしけれ。」と「またをかしけれ。」の内容の違いを考える。	・本文に描かれている情景を理解するとともに、筆者の感性を理解している。	・ノート ・課題プリント ・レポート ・小テスト	
			・「いみじうあはれにをかしけれ。」を品詞分解し、それぞれの語の文法的説明をする。 ・完了、存続の助動詞の用法を理解し、適切に現代語訳する。	・正確な文法理解をもとに、適切な現代語訳をしている。		
		・雪のいと高うふりたるを	・定子が笑った理由を考える。 ・女房たちの、清少納言に対する評価を考える。	・女房たちの、清少納言に対する評価について理解している。		
			・「さべきなめり」について、表記が省略されている部分を考え、品詞分解する。	・正確な文法理解をもとに、適切な現代語訳をしている。		
		期末試験				

2	9 (8)	4 日記1 (6)	日記を読み、作者の境遇や心情について読み取る。 『更級日記』 ・門出	日記を読み、作者の境遇や心情について読み取る。 ・本文から作者の境遇を読み取る。 ・作者の物語に対する思いの描かれ方を読み取る。 ・助動詞「る」の意味と用法について理解する。	・作者が門出した時の状況と心情を理解している。 ・正確な文法理解をもとに、適切な現代語訳をしている。	・ノート ・課題プリント ・小テスト				
		5 詩歌 (6)	・王朝秀歌	・各歌に描かれている情景や心情を理解する。 ・和歌の修辞法に注意し、和歌に描かれた内容を理解する。	・各歌に詠まれている情景や心情を理解している。 ・和歌の修辞法について理解し、適切な現代語訳をしている。	・ノート ・課題プリント ・レポート ・小テスト				
	中間試験									
	1 (4)	1 (8)	6 物語2 (12)	『源氏物語』の世界に親しみ、登場人物の心情の推移を読み取る。 『源氏物語』 ・光源氏の誕生	・桐壺の更衣に対する帝の寵愛ぶりをまとめる。 ・帝の、二人の皇子に対する扱いの違いを理解する。 ・物語の書き出しの特徴や意義について、話し合いを通して理解する。 ・文中の敬語について、その種類と敬意の対象を考える。	・登場人物の行動や発言内容を的確に理解し、そこから人物像を導き出しながら、桐壺更衣と帝の関係や周囲の人物との関係を理解している。 ・正確な文法理解をもとに、適切な現代語訳をしている。 ・物語の特徴を理解し、作品について自分なりの意見を持つことができる。 ・敬語の種類を理解し、敬意の対象や意味を適切に理解して現代語訳することができる。	・ノート ・課題プリント ・レポート ・小テスト			
			・若紫	・少女(若紫)の人物像についてまとめる。 ・本文中の和歌の内容を理解し、それぞれの歌に詠まれた心情を理解する。 ・光源氏の心情の変化を、本文の内容に即してまとめる。 ・光源氏の視点による叙述を確認する。 ・助詞の用法を理解して、現代語訳する。 ・文中の敬語について理解する。	・登場人物の行動や発言内容を的確に理解し、そこから人物像を導き出している。 ・正確な文法理解をもとに、適切な現代語訳をしている。 ・本文に添って、光源氏の心情の変化をまとめることができる。 ・助動詞の意味や用法に注意し、現代語訳することができる。 ・敬語の種類を理解し、敬意の対象や意味を適切に理解して現代語訳することができる。					
			期末試験							
			1 (5)	3	7 近世小説 (5)	・中古・中世の文章との違いを考えながら、近世小説を読み味わう。 ・叙述に即して、登場人物の心情をおさえる。 『雨月物語』 ・浅茅が宿		・登場人物の性格を、その行動から読み取る。 ・登場人物の心情を、表現に即して考える。 ・省略されている語を補いながら、文章を理解する。	・登場人物の行動や発言内容を的確に理解し、そこから人物像を導き出している。 正確な文法理解をもとに、適切な現代語訳をしている。 ・省略されている語を補いながら、文章を正確に理解している。	・ノート ・課題プリント ・小テスト
					8 物語2 (4)	物語の構成や語られている内容についてとらえ、関心を持った事柄について調べる。 『大鏡』 ・道長、伊周の競射		・本文中の記述をもとに、道長と伊周の人物像をまとめる。 ・道隆の、二人に対する態度をそれぞれ読み取る。 ・本文の内容と歴史的事実との整合性について調べる。 ・助動詞・助詞に注意して現代語訳をする。	・登場人物の行動や発言内容を的確に理解し、そこから人物像を導き出している。 ・本文の内容と歴史的事実との相違点を確認することで、歴史物語の特徴について理解を深めている。 ・正確な文法理解をもとに、適切な現代語訳をしている。 ・助動詞や助詞が理解できている。	
					学年末試験					
			3							

※ 尚、進度等は授業時数等の関係により、異なる場合がある。

※ 上記の他に適宜教科書外作品を扱う場合もある。

高3必修科目 「現代文B」 授業シラバス

高3必修科目「現代文B」授業シラバス					
教科名	国語	科目名	現代文B	単位数	3単位
教科の目標	近代以降のさまざまな文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、考え方、感じ方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。				
教科書	精選現代文B(東京書籍)		副教材	大学入試漢字TOP2000(いづな書店) 常用国語便覧(浜島書店)	

1. 学習の目標

- (1)高校の最高学年にふさわしく近代以降の高度な内容の文章を正確に読解できる能力を身につけ、また表現する力を育てる。
- (2)自分の進路を切り拓くうえで、自己の進学志望校に対する志望動機を的確に表現し、課せられた小論文に適切な解答を作成する力を育てる。

2. 学習の方法

(1)予習

- ①新しい単元に入る時には、全文を一度音読する。
- ②意味のとれない語句を辞書で調べて、ノートに書きとめておく。

(2)授業

- ①高3現代文Bの授業は、教科書の読解を中心とした「現代文」(2時間)と演習課題(小論文なども含む)を中心とした「演習」(1時間)に分かれて実施する。
- ②授業プリントの設問に自分なりの解答を書き、指名されたら、発表する。
- ③板書の内容はノートに書き写し、あわせて教員の説明、級友の発言についても必要と思われるものはノートに書きとめておく。
- ④教員の指示で小グループでの話し合いをすることもあるので、積極的に自分の意見を表明し、級友の意見をよく聞く。
- ⑤授業内で課された演習問題を真剣に解き、教員による解答・解説をよく聞いて、理解を深め、問題解答能力を涵養する。

(3)復習

- ①なるべく授業のあったその日のうちに、授業プリント、ノートを見返しながら、教材を読み直し、本文の理解を深める。
- ②記憶すべき知識的な項目についてはノートなどに整理しておく。

(4)小テスト

- ①年間計画に従って、週1回、漢字の小テストを行う。
- ②合格点をとれば、平常点として換算する。

3. 評価について

(1) 評価の観点

観点	趣旨
①関心・意欲・態度	国語と言語文化に関する関心を深め、国語を尊重しその向上を図り、進んで表現したり理解したりしようとする。
②話す・聞く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。
③書く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書く。
④読む能力	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて近代以降の様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。
⑤知識・理解	表現と理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字・文学史などを理解し、知識を身につける。

(2) 評価の方法

観点\評価材料	定期試験	単元テスト	小テスト	実技・実習	発言・発表	作品	レポート	ノート	ワークシート	討議	課題集
①関心・意欲・態度					○		○	○		○	
②話す・聞く能力											
③書く能力							○	○			
④読む能力	◎				○						
⑤知識・理解	◎		○								

4. 授業計画

月	単元と教材(配当予定時間数)	学習内容	評価の観点	定期試験など
4	1. 評論1『言語と記号』(丸山圭三郎) (5時間)	①評論文を読み、その構成・展開・要旨などを、文章に即して的確に読み取る。 ②言語の本質を理解する。	①主題を追究しようとしている。 ②文章の構成の理解を深めている。	
5	2. 小説2『舞姫』(森鷗外) (11時間)	①近代文語文の読み方をつかむ。 ②短編小説の全体構成を理解する。	①主題を追究しようとしている。 ②文語文の特徴をつかみ、正確な読解を心掛ける。	中間試験
6	3. 評論2『鏡の中の現代社会』(見田宗介) (6時間)	③新国家勃興期のエリートの苦悩を知る。 ①評論を読み、筆者の述べる人間・社会についての的確に理解する。 ②他者や異文化世界についての理解を深める。	③登場人物の生き方をとらえ、物語の展開を理解する。 ①主題を追究しようとしている。 ②筆者の論理展開をつかみながら、他者や異文化に対して理解する。	期末試験
9	4. 小説1『檸檬』(梶井基次郎) (6時間)	①小説を読み、場面や搭乗人文の描写を的確にとらえる。 ②イメージと心情が融合した感覚的な文章を味読する中で、青年期の不安と美への衝動を理解する。	①主題を追究しようとしている。 ②主人公の独特の感性をつかみ、特異な言動に背景にある心情をつかむ。	
10	5. 評論3『垂直のファッション、水平のファッション』(鷲田清一) (6時間)	①評論を読み、語句の意味や表現上の特色をとらえ、自分の表現に役立てる。 ②身体や人間存在のあり方について理解を深める。	①主題を追究しようとしている。 ②筆者の論理展開を追いながら、ファッションに現れる人間性のあり方を理解する。	中間試験
11	6. 評論4『グローバル化のゆくえ』(山崎正和) (6時間)	①評論を読み、筆者の述べる人間・社会についての的確に理解する。 ②グローバル化していく現代社会の特徴をつかむ。	①主題を追究しようとしている。 ②段落構成などに留意しながら、文章の全体の理解を深め、現代社会の特徴を理解する。	
7	7. 評論5『抗争する人間』(今村仁司) (6時間)	①評論を読み、その内容についてさまざまな情報を整理・分析し、自分の意見を表現する。 ②現代社会における人間心理の特徴をとらえ、現代社会のありようを理解する。	①主題を追究しようとしている。 ②筆者の主張を支える論理性に着目し、現代社会における人間の暴力性への理解を深める。	期末試験

高3 文系科目「古典B」古典・古典演習のシラバス

教科名	国語	科目名	古典B	対象	文系受験・推薦クラス	単位数	3単位
教科の目標	古文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。						
教科書	精選古典B(東京書籍)	副教材	古文単語330(いいずな書店) 古文読解力養成のための和歌修辞マスターノート(数研出版) 常用国語便覧(浜島書店)				

1 学習の目標

- (1) 古文において、文語のきまりを理解し、語彙を豊かにし、言語文化の特質や、伝統と文化について理解を深め、作品を読み味わう力を身につける。讚美歌の歌詞の理解にも繋げる。
- (2) 古文の様々な文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする力を養う。
- (3) 文章や作品の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しみ、日本文化の特質について考える。
- (4) 書き手の意図や文章中の人物の心情などを的確に読み取る。
- (5) 高1、2で学んだ文法・単語を自ら活用し、文脈に即して意味や用法を習得する。
- (6) ある程度幅広く古典を取り上げ、言語文化の変遷について理解する
- (7) 一般入学試験、特にセンター試験において本校受験者の得点率平均が80%を超えることを目標に授業展開を検討し、講習などを実施していく。当面は受験者の平均点が全国平均の50%を超えることを目標とする。

2 学習の方法

- (1) 予習について (詳しくは年度当初の授業にて説明)

〈古文〉

- ①教科書の当該箇所を音読し、ノートに写す。
- ②授業プリントで指示された単語を、古語辞書や「古文単語330」を用い、意味調べをする。
- ③授業プリントで指示された箇所を現代語訳する。
- ④便覧などを活用し、本文プリントに作品の出典や文学史的な位置づけについて調べたものをまとめる。

- (2) 授業について

〈古文〉

- ①高3古典Bの授業は、教科書の読解を中心とした「古文」(2時間)と演習課題を中心とした「演習」(1時間)に分かれて実施する。
- ②予習の確認をしながら、重要古文単語の意味を確認し、要点箇所については、品詞分解なども行い、正確な逐語訳ができるようにする。
- ③文語のきまりを理解し、文の構成を把握して文章の展開や流れをつかみ、主題を理解して作品を読み味わうようにする。
- ④適宜、問題演習を行い、学習の理解を深める。

- (3) 復習について

〈古文〉

- ①本文を自分で現代語訳できるか、確認をする。古語の意味、文法事項、表現技法に注目する。
- ②作品の中心となっている事柄をまとめる。
- ③シラバスに記された学習内容を項目ごとに理解しているか確認し、不十分な部分はノートや課題プリント等を通して再確認する。

- (4) 小テストについて

1年間を通して、「古文単語330」にそって授業中に小テストを実施し、平常点として成績に加味する。

3 評価について

(1) 評価の観点

観点	趣旨
①関心・意欲・態度	古典への関心を持ち、積極的に理解しようとしている
②話す・聞く能力	
③書く能力	
④読む能力	古典を正確に読み取る
⑤知識・理解	文語のきまりや訓読の決まりを理解し、古文常識、語彙力を身につける

(2) 評価の方法

観点	評価材料	評価材料								
		定期 考査	単元 テスト	小 テスト	実技 実習	発言 発表	作品	レ ポート	ノート	ワーク シート
①関心・意欲・態度						○			○	
②話す・聞く能力										
③書く能力										
④読む能力		○		○		○				○
⑤知識・理解		○		○						○

〈担当者からのメッセージ〉

- *本文の音読と書き写し、古文単語調べの予習だけは必ずしましょう。指示された要点箇所の現代語訳も可能な限りしましょう。
- *高3では、初見で本文のおおよその話の流れを理解できるように頑張りましょう。
- *1、2年次で触れながらも定着しなかった重要語・単語を再復習しましょう。
- *古文演習では「和歌修辞マスターノート」を使用し、和歌の修辞を学び、より奥行きのある深い美を深く学んでいきます。
- *特に受験生は、地道に勉強をし、夏以降は「古文は得点源」と言えるように努力しましょう。

4 授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考査等
4月 5月 9回	随筆	①作者の主張を読み取る	①作者の主張が読み取れたか	ノート点検 課題プリント 小テスト
	『徒然草』	②話題の内容と、それを受けての作者の感慨を読み取る	②話題の内容と作者の感慨を読み取ることができたか	
	『玉勝間』	③文章構成を確かめる	③文章構成を確認できたか	
		④作者について理解する	④作者のついて調べたか	
日記	日記	①作品の舞台、登場人物を確認する	①作品の舞台、登場人物を確認できたか	ノート点検 課題プリント 小テスト
	『紫式部日記』	②作者特有の心理状態を把握する	②作者特有の心理状態について考え、把握しようとしたか	
	『和泉式部日記』	③和歌に表れる詠み手の心情を理解する	③和歌に表現された詠み手の心情理解できたか	
		④敬語について理解する	④敬語の学習は進んだか	
1学期 中間試験				
6月 7月 9回	物語	①王朝物語の特徴をつかむ	①王朝物語の特徴をつかめたか	ノート点検 課題プリント 小テスト
	『落窪物語』	②登場人物の関係を整理する	②登場人物について整理できたか	
	『堤中納言物語』	③場面の内容を正確に把握する	③場面の内容を正確に読み取り、把握することができたか	
		④登場人物の心情を正確に理解する	④登場人物の心情を読解を通じて理解できたか	
1学期 期末試験				
9月 10月 10回	評論	①「歌論」というジャンルについて理解する	①「歌論」というジャンルについて調べることができたか	ノート点検 課題プリント 小テスト
	『古今和歌集仮名序』	②和歌の本質は叙情であることを理解する	②本文の読解を通じて、和歌の本質について理解できたか	
	『俊頼髓脳』	③平安歌人の和歌に関する理解をつかむ	③平安歌人の和歌に対する考えを理解しようとしたか	
	『無名抄』 『正徹物語』	④歌道に精進する歌人の生き方を知る	④歌人にとって歌道に精進することの意義を理解しようとしたか	
2学期 中間試験				
11月 12月 12回	物語	①『源氏物語』に関する知識を得る	①『源氏物語』とその文学史的意義について調べたか	ノート点検 課題プリント 小テスト
	『源氏物語』	②登場人物と場面について正確に理解する	②登場人物と場面について正確に理解できたか	
	評論	③古文読解と味読の高校生としての仕上げをする	③『源氏物語』の読解を通じて、古文を十分にも味読できたか	
	『源氏物語玉の小櫛』	④「もののあはれ論」を理解する	④「もののあはれ論」について調べたか	
2学期 期末試験				
※授業進度の状況によっては単元や教材を変更することがあります				